

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M7700-111-9911

7700ファミリ ソフトウェアマニュアル 追加情報 (REV.D)

1994年9月発行の『7700ファミリ ソフトウェアマニュアル』(印刷番号:HU-039A)に、一部内容の訂正がありましたのでお知らせいたします。本マニュアルをご使用の際は、留意のほど宜しくお願いいたします。

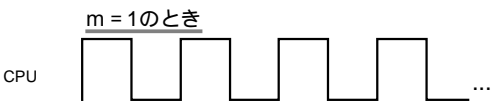
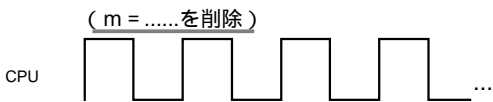
添付の正誤表(REV.D)には、同マニュアルの正誤表(REV.C)(ニュースNo.M7700-75-9801)の内容も記載しています (REV.Dで追加した内容は、左端の 印で示しています)。

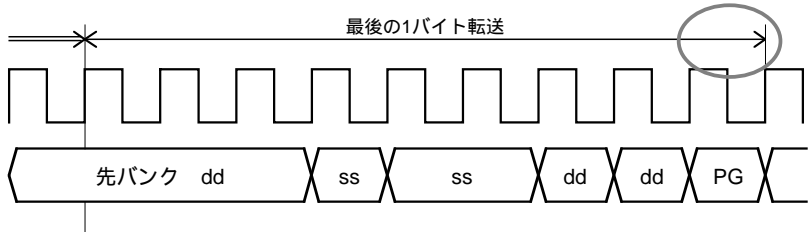
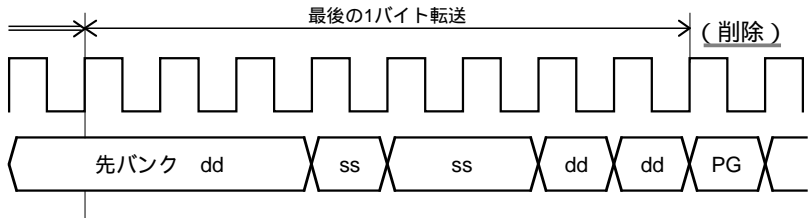
添付：『7700ファミリ ソフトウェアマニュアル』正誤表(REV. D) 3枚

7700ファミリ ソフトウェアマニュアル(印刷番号HU-039A) 正誤表(REV.D) No.1

訂正箇所	誤	正
2-1ペ - ジ (章扉)	<p>中央演算処理装置 (CPU)</p> <p>2.1 中央演算処理装置 2.2 バスインタフェース 2.3 アドレス空間 2.4 メモリ配置 2.5 プロセッサモード</p>	<p>中央演算処理装置 (CPU)</p> <p>2.1 中央演算処理装置 (2.2 ~ 2.5 削除)</p>
2-7ペ - ジ 2.1.9 (2) 3行目	<p>...されます。10進法演算モード時の加算命令 (ADC命令) では、このフラグの内容は無効になります。</p>	<p>...されます。10進法演算モード時の加算命令 (ADC命令) 及び減算命令 (SBC命令) では、このフラグの内容は無効になります。</p>
4-10ペ - ジ ADC 【ステータスフラグ】	<p>C : データ長選択フラグの内容が "0" の場合で2進加算のときは、演算結果が+65535を超えたとき、10進加算のときは演算結果が+9999を超えたときに "1" になります。それ以外では "0" になります。</p> <p>データ長選択フラグの内容が "1" の場合で2進加算のときは、演算結果が+255を超えたとき、10進加算のときは演算結果が+99を超えたとき "1" になります。それ以外では "0" になります。</p>	<p>C : <u>データを符号なしデータとして2進加算したとき、演算結果が+65535 (データ長選択フラグの内容が "1" のときは+255) を超えると "1" になります。それ以外では "0" になります。</u></p> <p><u>データを符号なしデータとして10進加算したとき、演算結果が+9999 (データ長選択フラグの内容が "1" のときは+99) を超えると "1" になります。それ以外では "0" になります。</u></p>
4-17ペ - ジ BBS 【動作】	<p>Mb = 1 ? (bは指定された...</p> <p><u>M</u> IMM = 0 (真) の.... <u>M</u> IMM 0 (偽) の....</p>	<p>Mb = 1 ? (bは指定された...</p> <p><u>M</u> IMM = 0 (真) の.... <u>M</u> IMM 0 (偽) の.... (アッパーバー追加)</p>
4-32ペ - ジ CLP 【ステータスフラグ】	<p>指定されたステータスフラグが "1" になります。IPLは変化しません。</p>	<p>指定されたステータスフラグが "0" になります。IPLは変化しません。</p>
4-34ペ - ジ CMP 4-36ページ CPX 4-37ページ CPY 【ステータスフラグ】	<p>C : 演算結果が "0" より大きいとき "1" になります。それ以外では "0" になります。</p>	<p>C : <u>データを符号なしデータとして演算したとき、演算結果が "0" より大きいとき "1" になります。それ以外では "0" になります。</u></p>
4-42ペ - ジ DIV 【ステータスフラグ】	<p>I : 変化しません。</p>	<p>I : 変化しません。 <u>除数が "0" の場合は "1" になります。</u></p>
4-54ペ - ジ JMP 4-56ペ - ジ JSR 【動作】	<p>：</p> <p>ADDRは23ビットのアドレス中、... 命令の2バイト目及び3バイト目で... BANKは23ビットのアドレス中、... 命令の4バイト目で指定します。</p>	<p>：</p> <p>ADDRは24ビットのアドレス中、... 命令の2バイト目及び3バイト目で... BANKは24ビットのアドレス中、... 命令の4バイト目で指定します。</p>
4-70ペ - ジ MVN 【動作】	<p>：</p> <p>注1. <u>X</u> = "0" で使用することを推奨します。 <u>X</u> = "1" のときは、インデックス...のデータしか扱えません。</p>	<p>：</p> <p>注1. <u>x</u> = "0" で使用することを推奨します。 <u>x</u> = "1" のときは、インデックス...のデータしか扱えません。 <u>x</u> : インデックスレジスタ長選択フラグ</p>

7700ファミリ ソフトウェアマニュアル(印刷番号HU-039A) 正誤表(REV.D) No.2

訂正箇所	誤	正
4-72ペ - ジ MVP 【動作】	∴ 転送前にレジスタに設定する内容 ∴ X : 転送元領域の先頭 (最下位) 番地 ∴ Y : 転送先領域の先頭 (最下位) 番地 ∴ 転送後のレジスタ内容 A : F F F F 16 X : 転送元領域の最終 (最上位) 番地 - 1 Y : 転送先領域の最終 (最上位) 番地 - 1 ∴ 注1. <u>X</u> = “ 0 ” で使用することを推奨します。 <u>X</u> = “ 1 ” のときは、インデックス...の データしか扱えません。	∴ 転送前にレジスタに設定する内容 ∴ X : 転送元領域の先頭 (最上位) 番地 ∴ Y : 転送先領域の先頭 (最上位) 番地 ∴ 転送後のレジスタ内容 A : F F F F 16 X : 転送元領域の最終 (最下位) 番地 - 1 Y : 転送先領域の最終 (最下位) 番地 - 1 ∴ 注1. <u>x</u> = “ 0 ” で使用することを推奨します。 <u>x</u> = “ 1 ” のときは、インデックス...の データしか扱えません。 <u>x</u> : <u>インデックスレジスタ長選択フラグ</u>
4-96ペ - ジ PSH 【動作】	M(S ~ S - n) A, B, X, Y, DPR, DT, PG, PS 退避順序 S S - n - 1	M(S ~ S - n + 1) A, B, X, Y, DPR, DT, PG, PS 退避順序 S S - n
4-106ペ - ジ SBC 【ステータスフラグ】	Z : 演算結果が“ 0 ” のとき“ 1 ” になります。 それ以外では“ 0 ” になります。 C : 演算結果が“ 0 ” に等しい又は“ 0 ” より大き いときに“ 1 ” になります。それ以外では“ 0 ” になり、ポローを示します。	Z : 演算結果が“ 0 ” のとき“ 1 ” になります。 それ以外では“ 0 ” になります。 <u>10進減算では</u> <u>意味を持ちません。</u> C : <u>データを符号なしデータとして演算したと</u> <u>き、演算結果が“ 0 ” に等しいとき、又は“ 0 ”</u> <u>より大きいときに“ 1 ” になります。それ以外</u> <u>では“ 0 ” になり、ポローを示します。</u>
4-139ペ - ジ 4.3 (2) 1行目	(2) プログラムバンクレジスタ及び...	(2) <u>内部ROM領域が60Kバイト以下の機種では、</u> <u>プログラムバンクレジスタ及び...</u>
4-139ペ - ジ 4.3 (3) 2行目、 5 ~ 7行目	ADC命令では キャリーフラグのみ有効 ゼロフラグ、ネガティブフラグ、オーバフロー フラグは無効 SBC命令では キャリーフラグ、ゼロフラグのみ有効 ネガティブフラグ、オーバフローフラグは無効 になります。	ADC命令及びSBC命令とも キャリーフラグのみ有効 ゼロフラグ、ネガティブフラグ、オーバフロー フラグは無効 になります。
6-2ペ - ジ 表の下4行目	が付加されます。(次頁の図参照) ダイレクトページレジスタを使用する.....	が付加されます(次頁の図参照)。 <u>ただしASR、</u> <u>EXTS、EXTZ命令では、アキュムレータBを</u> <u>使用する場合もサイクル数は同じです。</u> ダイレクトページレジスタを使用する.....
6-46ペ - ジ	タイミング： 	タイミング： 

訂正箇所	誤																							
6-85ペ - ジ	<p>タイミング：</p> <p>奇数バイトの転送（2段目の最後のサイクル）</p>  <p style="text-align: center;">最後の1バイト転送</p> <p style="text-align: center;">正</p> <p>タイミング：</p> <p>奇数バイトの転送（2段目の最後のサイクル）</p>  <p style="text-align: center;">最後の1バイト転送 (削除)</p>																							
訂正箇所	誤	正																						
7-22ペ - ジ 右側 下から11行目、 9行目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">記号</th> <th style="width: 90%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PSb</td> <td>プロセッサステータスレジスタの1ビット</td> </tr> <tr> <td>M(S)</td> <td>スタックポインタの内容の示す番地のメモリ</td> </tr> <tr> <td>Mb</td> <td>メモリの1ビット</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> </tbody> </table>	記号	内容	PSb	プロセッサステータスレジスタの1ビット	M(S)	スタックポインタの内容の示す番地のメモリ	Mb	メモリの1ビット	⋮	⋮	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">記号</th> <th style="width: 90%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PSb</td> <td>プロセッサステータスレジスタのビット</td> </tr> <tr> <td>M(S)</td> <td>スタックポインタの内容の示す番地のメモリ</td> </tr> <tr> <td>Mb</td> <td>メモリのビット</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">(1を削除)</td> </tr> </tbody> </table>	記号	内容	PSb	プロセッサステータスレジスタのビット	M(S)	スタックポインタの内容の示す番地のメモリ	Mb	メモリのビット	⋮	⋮		(1を削除)
記号	内容																							
PSb	プロセッサステータスレジスタの1ビット																							
M(S)	スタックポインタの内容の示す番地のメモリ																							
Mb	メモリの1ビット																							
⋮	⋮																							
記号	内容																							
PSb	プロセッサステータスレジスタのビット																							
M(S)	スタックポインタの内容の示す番地のメモリ																							
Mb	メモリのビット																							
⋮	⋮																							
	(1を削除)																							